

# むくのきだより

6月号

令和元年5月30日 港区立赤羽幼稚園 園長 宮崎 直人



## 赤羽幼稚園の誕生日をお祝いしました

園長 宮崎 直人

清々しい初夏を迎え、木々の緑も日増しに濃くなってまいりました。園児たちは、毎朝楽しそうにプランター等に植えている野菜や花の水やりをしています。

5月10日(金)は、バスに乗って、新宿御苑に行ってきました。すっきりと晴れ渡った青空の下、大きな広場で思い切り遊んだり、園内を散策しながらバラの花や木の実を見付けたり、探検を楽しんだり、自然の中で思い切り遊ぶことができました。

ゆり組とさくら組が、ペアになって苑内散策をしたときに、ゆり組の子供たちが、さくら組の子供たちを気遣いながら歩く姿に成長を感じました。よく晴れた日に思い切り遊んだので、帰るときには少し疲れ気味でしたが、最後まで歩き通すことができました。



5月15日(水)には、年長ゆり組がお隣の都立三田高等学校の「オセンチ山」に行きました。

三田高校の玄関を入ると、三保校長先生が、「ようこそ三田高校へ。みなさん、たくさん遊んでくださいね。」と笑顔で迎えてくださいました。「オセンチ山」は、三田高校の校庭にある小さな築山で、赤羽小学校のプールと隣接しています。木や草が茂る迷路のような小道をみんなで散策しました。虫や木の実を見付けたり、山の上から幼稚園に向かって「オーイ！」と声を掛けたりして“探検気分”をたっぷり味わいました。



そして、5月17日(金)には、開園記念集会を行い49歳の誕生日を皆でお祝いしました。(開園記念日は、5月19日です。)

赤羽幼稚園は、昭和45年4月1日に開園しました。開園当時から、年長は、「ゆり組」、年少は、「さくら組」です。当時は、ゆり組もさくら組も40名 計80名が通っていました。昭和45年5月21日には、今年と同じように、新宿御苑に遠足に行っています。

10周年記念誌を読んでもみると、幼稚園の思い出として、「遠足のときに、バスに乗ってお弁当を食べたこと」「親子遠足でお芋掘りに行って、土の中から大きな芋が出てきたこと」「お誕生会が好き」「プールが楽しかった」「ピロティで鬼ごっこをして遊んだことが楽しかった」等、今と同じような楽しい活動が様々あったことが分かります。

また、当時の幼児の姿として、「保育室、遊戯室、ピロティ、校庭と自由に駆け回り、自分の欲求に合った遊びを汗びっしょりになりながら堪能しています。」と書かれています。

「赤羽幼稚園の園児たちは、昔も今も変わらずに、元気一杯、仲よく楽しく遊んでいたのだな」と思いました。創立3年目には、園舎改築のため、仮園舎で生活したこともあったようです。その当時の園児や先生方の思いを読むと、49年間の歴史の重さを感じます。来年度は、いよいよ50周年です。大きな節目の年に向けて、保育がますます充実するよう、教職員一同頑張っていきたいと思えます。

ご支援・ご協力をよろしく願いいたします。

